

昭和 10年代の平野工場と三ツ矢の塔（アサヒ飲料㈱提供）



鶯の森駅前の淡水遊泳場「鶯の森遊泳場」（能勢電鉄㈱提供）



1960年頃川西能勢口駅南側シロ

「写真で振り返る 川西市制70年」

令和6年度

川西の教育【改訂版】

～アクションプラン～

川西市教育委員会

# 目次

---

## はじめに

川西の教育～アクションプラン～とは？	-----	P1
川西の教育～アクションプラン～の位置づけ	-----	P1

## 今年度の取組

令和6年度重要施策 一覧	-----	P3
--------------	-------	----

## これまでの取組

これまでの主な取組	-----	P5
-----------	-------	----

## 昨年度の取組

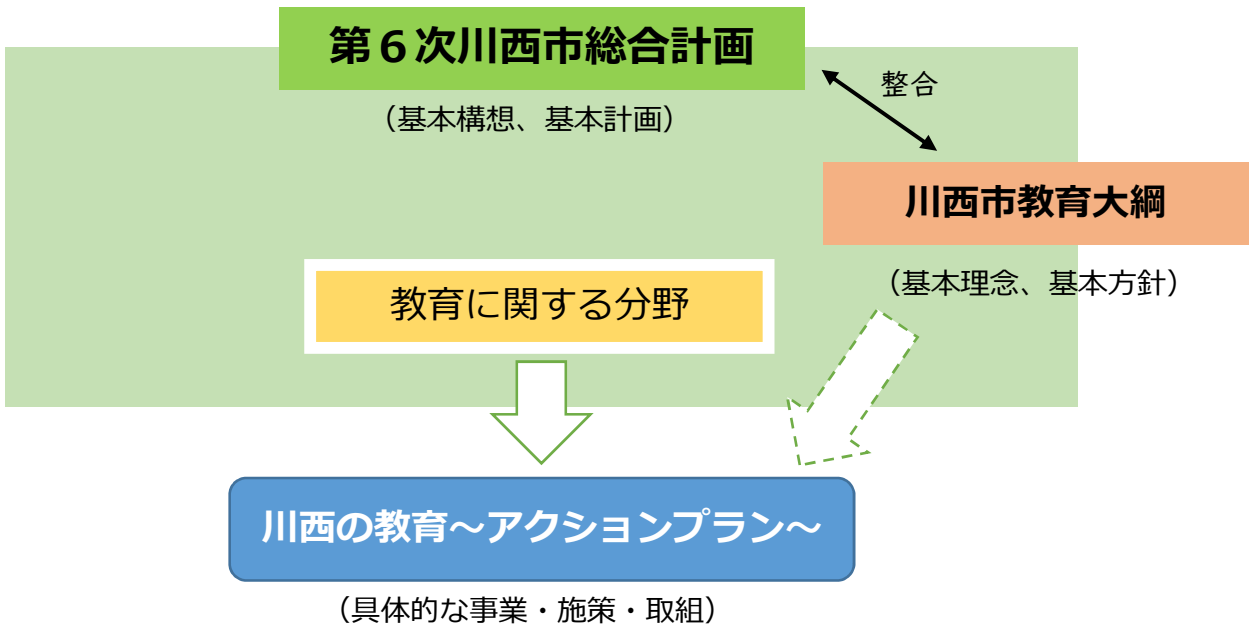
昨年度の主な取組と外部有識者からの評価	-----	P7
---------------------	-------	----

# 川西の教育～アクションプラン～とは？

令和6年度に、川西市のめざすまちづくりの基本方針「第6次川西市総合計画」を策定しました。また、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、川西市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針として「川西市教育大綱」も同時に策定しました。教育大綱の策定に向けては子どもの意見を大切にしたいという思いから、市長、教育長、教育委員が全中学校・特別支援学校へ訪問し、生徒と対話を重ねました。

川西市教育委員会では、第6次総合計画や教育大綱に基づいて取り組む事業のうち、重点的に取り組む事業やこれまで取り組んできた内容を『川西の教育～アクションプラン～』としてまとめました。取組内容を共有するだけでなく、進捗状況や成果・課題をまとめ、子どもたちの充実した学びや育ちにつながる取組を進めていきます。

## 川西の教育～アクションプラン～の位置づけ



「第6次川西市総合計画」は、基本構想として5つの柱「1.人が豊かに育つ川西の実現」「2.にぎわいが生まれる川西の実現」「3.安全安心を備えた川西の実現」「4.快適な環境で暮らせる川西の実現」「5.変革の歩みを止めない川西の実現」で構成しています。

教育委員会の事業は、基本構想の5つの柱のうち主に「1.人が豊かに育つ川西の実現」の「小施策2.子育て環境整備」「小施策3.教育保育」「小施策4.若者支援」に体系づけています。

(次頁図参照)

基本構想		基本計画		
5つの柱(分野別目標)	No.	施策	No.	小施策
01 人が豊かに育つ川西の実現	1	子ども・若者	1	妊娠・出産・乳幼児支援
			2	子育て環境整備
			3	教育保育
			4	若者支援
	2	人権・ジェンダー平等・多文化共生	5	人権・ジェンダー平等・多文化共生
			6	社会教育
	3	生涯学習	7	芸術文化・スポーツ

(「第6次川西市総合計画」より)

子どもたちが幸せにしていることや、そこから広がる笑顔は、世代を超えたにぎわいを生み、多くの人を幸せにする力があります。そこで、まず子どもに笑顔(幸せ)になってもらいたいという思いから、本市の施策は子ども・教育から始めます。また、人と交流する機会が減っている中、これまで以上に「人づくり」や「つながりづくり」が求められることから、個人の成長と地域社会の発展、学びと活動の好循環を生み出すことで、誰もが豊かに育つことのできる川西をめざします。

### 「川西市教育大綱」の基本方針

《基本方針》 ※重要施策に関連するものを抜粋

(1) 子育て・就学前教育保育 「すべての子どもたちに最良のスタートを」

- ア 遊びを中心とした学びの支援
- イ 子どもが主体となる質の高い教育保育環境の提供
- ウ インクルーシブ教育保育の提供
- エ 地域社会との協働による子どもの健やかな成長の支援

(2) 学校教育 「すべての子どもたちに充実した学び、育ちを」

- ア 主体的な学びや育ちを習得できる環境の充実
- イ 互いの多様性を尊重し、つながりを大切にした協働的な学びや育ちの実現
- ウ とともに学び、ともに育つインクルーシブ教育の推進
- エ 学校運営をみんなで考える体制の構築
- オ 子どもの学びや育ちを支える教職員の育成
- カ 新たな部活動環境の構築に向けた社会移行の実現
- キ 学級規模、学校規模を検討し、質の高い教育環境の整備
- ク 就学前教育保育施設と学校との連携の強化
- ケ 人権教育、多文化共生教育の推進

## 令和6年度重要施策 一覧

総合計画の目標の実現に向けて、教育委員会が取り組む重要な施策は以下のとおりです。

その中で、**教育大綱 (○) △** と表示している項目は、教育大綱の基本方針に基づき、重点的に実施する取組みです。

取組名	市立学校のあり方検討	
担当	教育政策課	<b>教育大綱 (2) キ</b>
【概要】	事業費	48万円
児童生徒の減少が進む中でも、子どもたちの学びを保障し、質の高い教育を実現するために、今後の学級規模、学校規模の検討を進めます。		

取組名	民間プールを活用した水泳授業の試行実施	
担当	教育政策課	<b>教育大綱 (2) ア</b>
【概要】	事業費	398万円
子どもたちの学習環境の充実に向けて、清和台地区の2つの小学校と川西養護学校をモデル校として民間のプール施設を活用し、専門的な指導によるプール授業を実施します。		

取組名	長期休業のあり方検討	
担当	教育政策課	
【概要】	事業費	
教育の質の向上、教職員の働き方改革に向けて、夏季休業日を含む長期休業のあり方を検討します。		

取組名	中学校での自転車通学の試行実施	
担当	教育保育課	
【概要】	事業費	2,398万円
清和台中学校区（けやき坂地区）及び東谷中学校区（北陵地区）で、自転車通学を試験的に実施します。あわせて、路面表示として矢羽根を整備します。		

取組名	校内サポートルームの充実	
担当	教育保育課	<b>教育大綱 (2) イ</b>
【概要】	事業費	1,276万円
多様な子どもたちの学びの場を確保するため、中学校における校内サポートルームの支援員の配置時間を拡充します。		

取組名	中学生の放課後学習支援	
担当	教育保育課	<b>教育大綱 (2) ア</b>
【概要】	事業費	1,485万円
子どもたちが、いつでも学び直しができるよう、中学生を対象にした民間事業者による学習支援を放課後の教室で実施します。		

取組名	中学校部活動の社会移行	
担当	教育保育課	<b>教育大綱 (2) カ</b>
【概要】	事業費	
子どもたちの多様なニーズや専門性を確保しつつ、持続可能な活動となるよう様々な団体と連携するとともに、教職員の働き方改革にもつなげていきます。		

取組名	「こどもの権利」を学ぶカリキュラム	
担当	教育保育課	<b>教育大綱 (2) エ</b>
【概要】	事業費	
子どもたちが自分自身の権利について学ぶ機会を、全ての学校園所で設けるとともに、子どもの意見を尊重する仕組みづくりを進めます。		

取組名	「学びの深化」実践指定	
担当	教育保育課	教育大綱（２）ア
【概要】	事業費	
従来型の教育保育にとらわれず、多様な教育保育活動を実践する学校園所等を指定し、子どもたちの主体的な学びの実現に向けた授業改善や教育課程の見直し等を支援します。		

取組名	サポートシステムを活用した切れ目のない教育保育の支援	
担当	インクルーシブ推進課	教育大綱（２）ク
【概要】	事業費	
個々の発達段階に応じた適切な支援について、サポートシステムの活用により、多角的多面的で客観的な方法からより最適なものを提供します。		

取組名	市立小中学校体育館への空調設備の整備	
担当	施設マネジメント課	
【概要】	事業費	3,080万円
教育施設の環境向上や避難所機能の強化を図るため、市立小中学校の体育館に空調設備を設置するために設計します。		

取組名	小学校へのエレベーター設置	
担当	施設マネジメント課	
【概要】	事業費	2億6,030万円
バリアフリー環境を整備するため、久代小学校、加茂小学校にエレベーターを設置し、多田東小学校、牧の台小学校で設計を実施します。		

取組名	留守家庭児童育成クラブの待機児童対策	
担当	入園所相談課	教育大綱（１）イ
【概要】	事業費	3,787万円
留守家庭児童育成クラブの待機児童を解消するため、民間留守家庭児童育成クラブの誘致を進めます。		

取組名	留守家庭児童育成クラブの副主任支援員の配置	
担当	教育保育職員課	
【概要】	事業費	132万円
主任支援員を補佐する副主任支援員を配置し、運営体制の強化を図ります。		

取組名	新たな民間小規模保育事業所の運営開始	
担当	入園所相談課	
【概要】	事業費	1億3,117万円
令和5年度に誘致した3カ所の小規模保育事業所の運営が開始されます。		

取組名	民間保育施設における保育士等の採用に伴う一時金支給に対する補助金	
担当	入園所相談課	
【概要】	事業費	560万円
民間保育施設における保育人材の確保と定着を図るため、採用後3年間にわたり、保育士等への一時金支給に対し補助金を交付します。		

## これまでの主な取組

川西市では、すべての子どもたちの充実した学びや育ちに向けて、様々な取組みを進めており、令和6年度事業のほか、これまでの主な取組内容を以下のとおりまとめています。

### ICT教育の推進

**取組名** 全児童生徒に1人1台タブレットを配置 【令和2年度】

**概要** 全小中学校及び特別支援学校に学校通信ネットワークを整備し、すべての児童生徒にタブレットPCを配備しました。



拡充

**取組名** 全小中学校の普通教室に電子黒板を設置 【令和5年度】

**概要** 児童生徒に配備した1人1台のタブレットPCを効果的に活用する教育機器の一つとして、全小中学校普通教室に電子黒板を配備しました。

### 基礎学力の定着に向けて

**取組名** 全小中学校にALTを配置 【令和2年度】

**概要** 児童生徒の英語力向上を図るため、外国語の授業に配置している外国人の指導助手（ALT）を増員し、全小中学校に1名ずつ配置しました。



**取組名** 中学校における少人数授業実施のために教職員を追加配置 【令和5年度】

**概要** 中学校において、英語・数学の基礎学力の定着を目的に全学年で少人数授業を実現するための環境づくりとして、新たに教職員を配置しました。

## 安心・安全な給食を

**取組名** 中学校給食の実施 【令和4年度】

**概要** 中学校で、特定原材料等全28品目のアレルギーに対応した米飯中心の手作り給食が始まりました。

## すべての子どもに多様な学び方を

**取組名** 全小中学校に校内サポートルームを設置 【令和5年度】 ※令和4年度に全中学校に設置

**概要** 全小中学校において、校内フリースクールを運営し、子どもたちに多様な居場所や学びの場を確保しました。また、児童生徒の生活・学習を支援する支援員を配置しました。

## インクルーシブ教育保育の推進

**取組名** 保育施設での医療的ケア児の受入れ 【令和4年度】

**概要** 医療的ケアが必要なこどもの受け入れが可能となるよう、市立認定こども園に看護師を配置するとともに、民間保育施設に看護師等配置への補助を行いました。

**取組名** 私立幼稚園への配慮が必要な児童の受入れ支援 【令和4年度】

**概要** 私立幼稚園に対して、配慮が必要な幼児を受け入れる場合、市の独自の基準に基づき、加配教員の人件費相当を補助しました。



## 昨年度の主な取組と外部有識者からの評価

昨年度に実施した取組の中で、特に重要なものについて、主な取組と教育行政事務評価での評価について紹介します。

### 基礎学力の定着に向けて

**取組名** 中学生が少人数で授業を受けられる環境整備

**令和5年度  
取組** 市立中学校の数学もしくは外国語の授業で基礎学力定着に係る少人数指導加配教員を配置

**評価委員に  
よる評価**

「簡単な計算が出来る、漢字が書ける生徒が増えた」といった基礎的な内容にフォーカスしてもよいので、直接的に成果が現れるものを目標値として設定し、教育委員会としてより明確に成果を把握する必要がある。  
基礎学力の向上については、人材の確保よりもICTを活用した取り組みの方が効果的な可能性がある。担当課には引き続き検討を行っていただきたい。

### すべての子どもに多様な学び方を

**取組名** 市内全小・中学校での校内フリースクール開設

**令和5年度  
取組** 市立全小中学校への校内サポートルーム設置と支援員の配置

**評価委員に  
よる評価**

校内外に子どもたちの居場所をつくることはとても良い取り組みであり、今後も拡充を進めていただきたい。  
市の予算で取り組んでいる部分についても、子どもたちの環境の向上や教員の負担軽減のため、国が制度化して予算化するよう、エビデンスを基に働きかけるのがよいだろう。  
意義のある取り組みであるので、1つの失敗でつまづかないように、研修や情報収集には留意していただきたい。

## 地域との協働の推進

**取組名** 地域学校協働活動の推進

**令和5年度  
取組** 学校運営協議会の設置、地域学校協働本部の設置

**評価委員に  
よる評価**

全ての学校園で学校運営協議会の設置が完了したので、今後は学校運営協議会が目指すべき姿を教育委員会が示す必要がある。  
地域に開かれた学校になっていくことは大事であるが、それによって生まれる摩擦への対応や、教職員の働き方、また支援員への報酬や活動に対する支援についても議論を重ねていかなければならない。  
教育委員会の取り組みとしては次のステップに進む段階である。目標設定を明確にし、地域との協働を継続していただきたい。

## ICT教育の推進

**取組名** 教育用ネットワーク機器の更新

**令和5年度  
取組** 教職員PCの1台化、校務支援システムの拡充更新、校務の無線化、電子黒板の導入、GIGAスクール運営支援センターの開設

**評価委員に  
よる評価**

ナショナルスタンダード以上の取り組みをしており、近隣市と比較しても校内ネットワークの整備が早いことは評価出来る点である。  
この取り組みが教職員の業務改善にどれだけ繋がったか、また教職員の業務改善が子どもの学力向上にどれだけ寄与しているか、子どもたちの学力や教員の教え方がどう変化したか等、校内へのICTの導入により起こった変化を、定量的な側面から示すことが必要である。  
情報管理に注意しながら、積極的に活用して好事例を積み重ねていただきたい。

## インクルーシブ教育保育の推進

**取組名** 帰国・外国人幼児児童生徒に対する語学支援

**令和5年度  
取組** 日本語支援を必要とする外国人児童生徒及び保護者に対する語学支援、ポケットーク（多言語翻訳機）の導入

**評価委員による評価** 語学支援の対象を市が独自で就学前施設まで拡大したことにより、就学の前段階から保護者へのかかわりを含めた支援を行えるようになったことは、とても意義のあることである。  
スマートフォンでも通訳をすることが可能となっている中で、人による通訳の必要性についても検証の必要がある。人による通訳と、ポケットーク等の機械を用いた通訳を効果的に使い分けていただきたい。  
就学前後での一貫したサポートを目指し、より効果的な施策となるように進めていただきたい。

**取組名** 支援が必要な子どもをサポートするシステムの導入

**令和5年度  
取組** 特別支援教育充実のための教育ソフト利用

**評価委員による評価** 特別支援教育において、支援計画の補助から教材の作成までを、適切なアセスメントに基づき一体的に支援するソフトを活用したことは評価出来る点である。  
ソフトに依存してしまうと教員の指導力の低下に繋がる恐れもあるが、若年層とベテラン層の知識・技能面において質の担保が期待でき、より質の高い教育を提供できることはメリットの一つである。  
ソフトの活用促進及び活用状況の把握をしっかりと行い、その成果を検証していただきたい。

## 留守家庭児童育成クラブの充実に向けて

**取組名** 留守家庭児童育成クラブ開所日の拡充

**令和5年度  
取組**

年末年始の開所日の拡充及び入学・卒業式の日々の育成クラブ開所

**評価委員に  
よる評価**

保護者の就労支援・負担軽減に繋がる取り組みである。  
開所日が増えたことで、市民サービスの充実に繋がっている一方で、勤務する職員にとっては負担が増えている。働き方改革の観点から、勤務する職員へのケアが出来ているかが今後重要な観点となる。  
必要十分な対応を達成するため、保護者や子どもたちにアンケートを取る等、利用者の声を積極的に拾い上げながら、継続的なサービスの提供を行っていただきたい。

**取組名** 留守家庭児童育成クラブの待機児童対策

**令和5年度  
取組**

夏季休業期間中のみの育成クラブの開設

**評価委員に  
よる評価**

夏休みだけ留守家庭児童育成クラブを利用したいというニーズに対し、夏季に利用していない学校の特別教室を利用することは良い取り組みである。  
学校の教室数や人材確保の問題から、公立の育成クラブで定員を増やすのが難しい中で、待機児童ゼロを達成するための1つの対応として夏季クラブの開設は有効だろう。  
居場所づくりという形で、児童館等、学童以外の場所を活用することで対応していくのも1つの方法である。

## 民間保育施設への支援

**取組名** 民間保育施設等への置き去り防止対策の支援

**令和5年度  
取組** 市内全園バスへの安全装置設置の補助

**評価委員に  
よる評価**

川西市内の民間園のバス全11台（7園）に安全装置を設置するよう支援し、設置に至ったことは評価出来る。

本施策における市の役割として、全てのバスに安全装置が設置されているか、あるいは安全装置が適切に運用されているかといったような、指導監査に力を入れていく必要がある。

次年度以降、市としての運営支援の結果が数値で見えるように、指導監査の回数や内容等に力を入れていっていただきたい。